

実践編

相談援助職による ケース記録の書き方

～事実をどう表現する？
根拠のある表現とは～

日時 | 2022年11月12日(土)
13:30～16:30 参加費無料

定員
42名

<スケジュール>

- ・13:30～14:30 ロールプレイ(10分)・グループワーク(50分)
- ・14:40～16:00 発表と講評
- ・16:00～16:30 研修まとめ・苦情の取り扱いについて

場所 | 関西大学 堺キャンパス
SA406教室



対象 | 堺市内の福祉関係相談援助職の方
福祉を学ぶ学生 ※応募多数の場合には選考いたします。

申込 | 下記URL または 右のQRコードよりお申込みください。
<https://forms.gle/YciKedR8zoDxzHdT8>

※申込締切:11月4日(金)必着



お申し込みは
「コチラ」



講師 八木 亜紀子 氏

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 特任准教授
プリンシプルコンサルティング株式会社
プリンシプル職場の心理学研究所 所長
アアライ株式会社 代表取締役

【取得資格】米国カリフォルニア州臨床ソーシャルワーカー/精神保健福祉士/公認心理師
国際EAP (Employee Assistance Program) 協会認定EAプロフェッショナル
【専門】臨床ソーシャルワーク、EAP、専門家倫理

【プロフィール】

米国ウィスコンシン大学大学院マジンソン校(University of Wisconsin-Madison)ソーシャルワーク修士課程修了。
同志社大学大学院アメリカ研究科博士課程単位取得満期退学。

米国サンフランシスコのRichmond Area Multi-Servicesで日英両語で個人、家族、グループ療法を提供し、日系コミュニティへのアウトリーチに従事した。またニューヨークのAon Consulting Inc.でリーダーシップ養成トレーニング、コーチングを日英両語で行った。帰国後(株)イーブで従業員支援に携わるとともに、EAP専門家養成講座を企画運営し、スーパービジョンを提供。筑波大学、東京学芸大学で教職員のワーク・ライフ・バランス支援、女性研究者支援に従事した。また社会福祉法人JHC板橋会ワーキング・トライで障害者の就労支援に携わった。

現在は福島県における被災者支援、相談援助職に向けた記録の研修、組織へのメンタルヘルスやハラスメントに関する研修やコンサルティング等に携わっている。

お問合せ先

関西大学 堺キャンパス事務室 地域連携担当 「相談援助職によるケース記録の書き方」係
〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町1-11-1 TEL:072-229-5024